

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人環境ネットやまがた		
事業名	次世代自動車の普及と森づくり活動で 低炭素型ライフスタイルをクールチョイス		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1, 016, 809 円
		うち助成金額	982, 000 円



山形県の次世代自動車への取組みと充電インフラ整備

NPO法人環境ネットやまがた 環境整備の次世代自動車センター

EV・急速充電器トップページ

山形県内充電場所マップ

エコカー・次世代自動車
試乗会・イベント情報

急速充電器の利用状況
グリーン電力の活用状況

NPO法人
環境ネット
やまがた
<http://www.eny.jp/>

やまがた
環境整備センター

急速充電器の利用状況

県庁前に設置し、急速充電器の利用状況です。利用上の詳細を掲載しています。

電機3年分	経年別	施設稼働数(台)	電気使用量(Wh)	運営電力単価(円)
4月期(4/1-4/30)	2台	2台	2,174kWh	5,997円
5月期(4/28-5/1)	2台	2台	2,066kWh	5,100円
6月期(5/2-6/29)	22台	22台	3,679kWh	6,119円
7月期(6/30-7/27)	22台	22台	2,275kWh	6,432円
8月期(7/28-8/31)	22台	22台	3,094kWh	6,745円
9月期		台	kWh	円
10月期		台	kWh	円
11月期		台	kWh	円
12月期		台	kWh	円



■事業目的

2020年は、気候変動対策の新しい国際的な枠組み「パリ協定」のスタートの年。その中で、日本は、2013年度比で2030年までに温室効果ガスを26%削減する目標を掲げており、国民運動「COOL CHOICE（クールチョイス）」を推進している。これは、「賢い選択」の意味で、物品のみならず環境負荷の少ないライフスタイルの選択等も含まれている。今回の事業では、一世帯当たりの自動車保有台数が全国で2番目に多い山形県だからこそ次世代自動車を選択すること、森林の面積が広い山形県だからこそ森林に出かけ・親しむライフスタイルを選択することで、クールチョイスの理解を広めて行くことを目的とした。

■実施内容

- ・県内で最初に設置された県庁前の電気自動車用急速充電器の管理・運営を実証し、次世代自動車の普及を推進するとともに、クールチョイスの普及啓発を行った。（充電器の故障により年度途中までの実施）
- ・山形県産業科学館の発明工房で、山形日産自動車株と連携し、小学生の親子を対象とした環境・工作教室を実施した。（電気自動車のお話とソーラーカー作り、写真②）

日時：11月8日（日）10：30～12：00、参加者：小学生の親子9人

■事業の成果及び今後の展望

① 事業の成果
環境・工作教室参加者9人（入場者を制限し5家族に限定）

県庁前の電気自動車用急速充電器を活用した普及啓発114人（9月11日までの推計）

② 今後の展望

二酸化炭素排出量の少ない次世代自動車を普及する必要があるが、それでも自動車の製造から廃棄までを含めた場合、二酸化炭素排出量をゼロにすること（パリ協定の今世紀後半の目標）はできない。そこで、森林整備活動を行うこと（森林吸収源対策）で、そのCO₂をオフセットすることができる。そのような、パリ協定の目標を達成させるための方法を今後も提案して行きたい。

NPO法人環境ネットやまがたホームページ
(<https://www.eny.jp/>)